

どい 土肥こうすけ後援会ニュース

発行:土肥こうすけ後援会 発行責任者:出原 逸三 編集責任者:鋤本 浩
〒525-0044 草津市岡本町1000番地2(ダイキン工業労働組合滋賀支部内) TEL:077-564-1153

■ 市議会定例会 一般質問報告

9月議会では、市民の皆様から最も多くのご意見を頂戴した「交通安全」について一般質問を行いました。



ラッシュ時の草津駅前の混雑について

<質問の狙い>

朝夕のラッシュ時、通勤・通学する人や車の混雑が慢性化している状況を改善し、歩行空間の確保と、公共交通機関の正常運行を図る。

<一般質問>

ラッシュ時の草津駅前には、歩道のバス待ち行列が膨らみ、通行が困難。またマイカー送迎でロータリーも混雑し、公共交通機関の運行に支障がある。歩行空間確保を目的とし、歩道に区画線を引けないか。また、マイカー送迎スペースも含めた駅前ロータリー活用法を見直す必要があるのでは？

<答弁>

区画線を引くことは可能。他にもバス停留所の移動や、区画を変えることなど対応策について十分に関係者と協議していきたい。

ロータリーについては、タクシー・バス待機スペースの再編や、マイカーの進入規制の検討が必要。まずは5分間無料の地下駐車場への誘導、自家用車乗降レーンがタクシー待合の外周部にあるので、その利用も周知する。

<土肥の今後の取り組み>

区画線については、かなり前向きな答弁を得られたと思うので、実施に向けて担当部局と協議を続けてまいります。

ロータリーの空間活用については、引き続き行政と議論を重ねて魅力ある駅前空間を目指してまいります。

草津4コママンガ

作:TKG推し

第四回
「秋ですね!編」



寒い季節も適度な運動で健康に!

深秋の候、後援会の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。また、平素は私の議員活動へのご協力とご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

おかげさまで、10月1日をもって議員活動開始から1年が経過いたしました。この1年間を振り返ってみますと、「中学校給食」や「子育て環境整備」「高齢者福祉」など、皆様の生活に大きな影響を与える事柄や、「草津川跡地整備」や「野村公園整備事業」など中心市街地活性化に関する事業について、市民の皆様からのご意見を伺いながら、行政と議論を進めてまいりました。(※詳しくは次頁に記載しておりますので、ご覧ください)

また、この1年間は文教厚生常任委員会に所属し、活動して参りましたが、これからの1年間は、新たに総務常任委員会の一員として、市の財政健全化や地域活性化を目指して活動を進めてまいります。とりわけ、2017年4月から、多くの学区で市民センターの運営をまちづくり協議会に委託することになりますので、市内各地域に与える影響や課題について、市民の皆様からのお声を聴きながら、意見・提言し、課題解決に努めてまいります。

今後ともご支援とご指導を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。



【退任】

・文教厚生常任委員会 ・予算審査特別委員会

【新任】

・総務常任委員会 ・決算審査特別委員会 ・湖南広域行政組合議会

【継続】

・都市再生特別委員会 ・総合計画特別委員会 ・草津市都市計画審議会

■ 安全な通学路を目指して

▼集団登下校時の児童が事故に巻き込まれるニュースを聞くことが増えてきました。過去、議会にて「草津市内の通学路の安全性向上」について一般質問し、ハード・ソフト両面での対策強化を求めてまいりましたが、毎年、学校・PTA・地域の皆様で通学路の見直しを行い、安全確保に努めて頂いている一方、市の予算や道幅などの制約があるなかで、ハード面での対策はまだまだ行き届いていないと感じています。悲惨な事故が起きない環境を作るため、PTAや地域の皆様のご意見を聴かせて頂きながら、安心安全な草津を目指してまいりますので、今後ともご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

土肥こうすけへのご意見、ご質問は 土肥こうすけ後援会 まで

〒525-0044 草津市岡本町1000番地2 (ダイキン工業労働組合滋賀支部内)

TEL:077-564-1153

FAX:077-565-9840

■ 「地域座談会」を月例開催いたします!

地域課題や困りごと、市政に対する疑問やご意見について、皆様の生の声を頂戴したく、市内各地にお伺いし、直接お話しする場を定期的に設けさせて頂きたいと考えております。

直近では、以下の2地域で座談会を開催しますが、これ以外の地域については別途ご案内申し上げますので、是非ともご参加いただけますよう、お願い申し上げます。

・2016年12月23日(祝)10:00~12:00

地域:大路学区

場所:新屋敷第二公民館

・2017年1月21日(土)10:00~12:00

地域:山田学区

場所:南山田会館



■平成28年の市政の動き（トピックス）

「草津市政・市議会のこの1年間の動きやトピックス」について、**土肥自身が市議会議員として参画した議論や審議の現場で感じたことも踏まえて、ご報告致します。**

子育て・教育

①子育て相談センターの設置

▼妊娠期から子育て期の方に、専門職による総合相談を実施し、母子保健・子育て情報の提供や相談支援の充実を図るため、平成28年6月に**子育て支援センター**が、さわやか保健センター内に新たに設置されました。

今後のフォローの視点

就職などの理由で他府県から転入し、地域とのつながりが希薄になりがちな**核家族世帯では、お母さんが一人で子育てに関する不安や悩みを抱えてしまうケース**が少なくありません。妊娠・出産・子育て期における切れ目のない支援を行う拠点（ワンストップ窓口）として機能を果たすよう、市民の皆様のご意見も頂きながら、**センターの運営をチェックしていきたい**と考えております。

②中学校給食について

▼平成28年3月定例会において、当初予算案に「中学校給食導入検討費」として約750万円が計上されました。中学校給食実施に異議を唱える議員の一人が採決の際に議場から退席しましたが、私も含めて賛成多数で可決されました。

今後のフォローの視点

現在は、有識者と公募委員からなる検討委員会が設置され、実施に向けた検討が進められており、年明けには具体的な実施計画が策定される予定となっております。共働き世帯が増加している昨今、働く男女の日常における家事負担を軽減するべく、**早期実現を求めて参ります。**



草津市内小学校の給食

環境

③クリーンセンター（馬場町）更新事業について

▼焼却熱エネルギーを利用した自家発電施設により処理コストの低減および売電を狙って、施設からの排ガスの測定値をリアルタイムに場内表示するなど、**環境負荷への配慮がなされた新しいクリーンセンター**が、来年度中の完成と試運転の実施を目指して施工されています。

今後のフォローの視点

現在、現場には工事車両が頻繁に出入りする状況となっております。周辺には住宅地があることから、トラック等の生活道路への侵入や、歩行者等の安全を脅かすことのないよう、近隣住民の皆様からのお声を聴かせていただきながら、厳しくチェックしてまいります。



クリーンセンターの完成イメージ

健康・福祉

④野村スポーツゾーン整備について

▼市民スポーツの拠点である**野村市民体育館**を、スポーツのほかにも各種イベントが実施可能な体育館として**建て替える**ため、実施設計業務や地形測量業務に係る当初予算案として約4,800万円が計上され、可決されました。

今後のフォローの視点

現在、市から提示された設計案について協議されており、受動喫煙を防止するための**喫煙スペースの設置や、授乳室を兼ねたキッズルームの設置**など、委員会での意見が反映された形になりつつあります。また、直近の協議では、平成29年から始まる工事に向けて、**工事車両による事故や、周辺道路の混雑が起きないように対策を講じてから着工**するよう、行政に求めました。引き続き、安全第一の視点でチェックしてまいります。

まちづくり

⑥草津川跡地整備事業について

▼平成29年4月の供用開始予定で、「区間2（メロン街道～浜街道）」と「区間5（JR琵琶湖線～国道1号線）」の**草津川跡地整備**が進められております。

◎区間2については、当初3つのエリアで民間での事業を募集しておりましたが、結果として1つのエリアは**カフェ & 体験型園芸農園**に決定し、残りの2エリアは**多目的広場として暫定利用**されることとなります。

◎区間5については中心市街地の回遊性を高め、新たなにぎわいの創出を狙った**テナントミックス事業**も展開され、ホットヨガやレストランなどの店舗が開設される予定となっております。



今後のフォローの視点

駅前周辺地域住民の方から、跡地が**非行や犯罪の温床にならないか心配の声**が上がっております。市民の皆様が安心して跡地を利用できるよう、街灯やカメラ、パトロールなどの防犯対策を求めてまいります。

⑤地域包括ケアシステムについて

▼介護予防から医療・介護まで、高齢者を包括的に生活支援するシステム構築に向けて、自立した生活を営み介護予防を図るため「**短期集中予防サービス（通所・訪問一体型）事業**」や、認知症の人やその家族を訪問し、包括的・集中的に支援を行う「**認知症初期集中支援チームの設置**」など、新たな事業を開始いたしました。

今後のフォローの視点

比較的「若いまち」と言われている草津市ですが、**地域によっては少子高齢化が深刻な状況**になりつつあり、高齢者のみの世帯も増加していることから、切れ目のない一体的な生活支援サービスの充実をめざして議論してまいります。

